

第1号議案 第12期事業報告

I. 第12期事業 総括報告

シルバーアドバイザー・ネット大阪（以下 SA ネット大阪という）は平成18年4月に設立され、平成18年9月にNPO法人として認可されました。設立の目的としてきた高齢者が長年培ってきた豊富な社会経験、知識や技能を生かして今年一年間地域社会で活動し、子どもたちの健全育成、高齢者の生きがいがづくりや、安全で住みよい街づくりのために活動してまいりました。

① 各事業部について

伝承おもちゃづくり事業部は自分で作ったおもちゃを使って、親子や、またみんなで楽しむ企画を、各地域の学校や施設の催事で実施することができました。「おもちゃづくり教室」では、おもちゃ作りの指導を受けた参加者は、早速成果を生かして、地域活動に参加するスタッフに加わるという良い結果が出てきました。

おもしろ算数教室事業部は、子どもたちには考える力を身に付け、高齢者には脳の活性化を図ることをモットーに、出前教室を開いて好評を得ました。

国際交流事業部は国際交流サロンを開催し、留学生による各国の紹介や、いろいろな国からの留学生との交流会を持ち、国際交流と相互理解を深めることができました。サロンの際に新規の入会者がスタッフとして一緒に活動できる体制ができたのが大きな収穫です。

広報部はホームページで各事業部の報告と行事予定を随時更新してきました。広報誌「SA・ネット大阪ニュース」を発行し、活動の成果を発表してきました。会員の日頃の活動を「かわら版コーナー」として順次投稿していただいたのも好評でした。

② 他団体との連携

大阪府高齢者大学校（以下高大という）の文化祭において展示コーナーに参加。体育祭にも参加。大阪府民カレッジ、大阪区民カレッジの受講生におもちゃづくりの指導で参加。大阪アクティブシニア協会のアクティブシニアフェスタにおもしろ算数教室パズル体験コーナーと展示に参加して日頃の活動をPRしました。校友会の各加入団体と情報を共有し、各団体と連携して各種行事に積極的に参加することで、日頃の活動を紹介することができました。

次年度は今年の良かった点は一層強化し、至らなかった点は改めて新体制で推進したいと思います。

II. 事業部 活動報告

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告

従来より一貫して幼児、児童を対象に、日本に古くから継承され愛されてきた「おもちゃ」を原型に、身近な材料で応用して幼・児童や、それらの若いお父さん、お母さん方も交えて自分だけのおもちゃを「つくり」、家族が一緒になって「遊び」、

交流する所謂「世代間交流」を図ってきました。

また、ここ数年、障がい者を対象にしたイベントにも機会を見つけて参加。限られた時間での障がい者との交流も、それぞれの笑顔が見られて充足感を感じていました。

更にシニアを対象に「シニアカレッジ」や、「おもちゃづくり教室」を通じて私たちが持つ「おもちゃづくり」のスキルを伝え、習得してもらい、それぞれ地域やイベントでいろんな世代の府民と交流してほしいと念じて、指導活動してきました。

その甲斐あって昨年度も数少ない機会を通じて「多世代交流」「障がい者交流」が出来たと思っています。

一昨年から参加している毎月第1日曜開催の四天王寺「わか市」には、ほぼ毎回参加。出店者、来場者との交流も定着、「わか市」の人気店として異色な存在となりました。

シニア向けの活動「シニアカレッジ」講座への参加は、受講生が在学中に、地域や小学校で子どもたちと交流し、「おもちゃづくり教室」への参加者も徐々に増えた状態で安定し、それぞれ地域での活動に役立っていることを実感しています。

ただ、活動メンバーも、高齢化により活動範囲が制約され、年々諸行事に参加・指導する人員の確保が難しくなり、こちらも「世代交代」を図るべく、新役員を迎えましたが実現は今年度に持ち越されました。

懸案の活動資金調達面では、昨年度は、「河原林富美福祉基金配分金事業」(大阪府共同募金会)として、昨年7月、70,000円の助成を受け、昨年度後半事業実行に大いに役立ち、当初予想以上の成果を挙げることができました。予定事業は、昨年度3月を以て無事終了しました。基金分配金を受けられたことを感謝します。

2. おもしろ算数教室事業部 活動報告

① 出前教室・・・高齢者向け3回 実施

・高齢者向けに、継続的に実施をしているところでは、初めて参加した方と、何時も参加される方との違いが、目につきます。参加を重ねると、楽しめるようになる様子がみえます。皆さん「楽しみながら、いつまでも心身共に元気で過ごしたい」との思いが窺えます。

② パズル体験・・・4回実施

・少ない開催でした。そこで、「いかにこの機会を、増やしていくか」ということと「パズルをすると、頭を測られるのが嫌」との声への対応が問題です。

③講座を実施・・・八尾市生涯学習センターと共催

・体験会・初級講座・中級講座・上級講座・サポーター養成講座・サポーター認定会と、実施しました。

・参加人数が、減少しているので、曜日を変更して実施しましたが、参加者の減少を食い止めることが出来なく、非常に残念でした。

④サポーター会・・・春に実施

・新パズルの紹介や、情報交換により、サポーター間の交流を深めました。

3. 国際交流事業部 活動報告

2017年度の活動は昨年度の古谷事業部長が抜けられ新任の村松に交代、新たな体制でスタートしました。武内理事長の全面的なフォローを頂き無事に一年の活動を終える事が出来ました。基本は理事会の後の定例運営委員会で活動の内容を決め実施しました。

主な活動は国際交流サロンの開催を通しての国際交流活動で今期は第35回から第38回まで計4回開催しました。各回の内容は以下の通りです。

第35回国際交流サロン

日時：平成29年8月26日（土）14:00～16:00

場所：大阪日本語教育センター 3階大教室

参加人数：99名

内容：英語落語「おふく寄席」

固定ファンもあり、アンケートを実施したところ高い評価も頂きました。

第36回国際交流サロン

日時：平成29年11月19日（日）14:00～16:00

場所：大阪日本語教育センター 3階大教室

参加人数：41名

内容：講演及び留学生との交流

講演演題 「異文化理解と交流」

講師 王敏（ワンミン）氏 法政大学教授

長年の日本文化研究をとおしての日本と中国との関係性などについて興味深く講演頂きました。又交流会では外国人留学生も交えグループ毎に交流、講師の話を踏まえてグループごとに質問を出して、講演内容を深めるワークショップとなりました。

第37回国際交流サロン

日時：平成30年2月11日（日）11:00～13:00

場所：大阪トルコ協会

参加人数：20名

内容：朝食会及びトルコ文化についての話

トルコの家庭料理をバイキング形式で十数種類の料理を頂きました。

又トルコ協会のアリ氏から現代トルコの実状などの話を聞きました。

第38回国際交流サロン

日時：平成30年3月25日（日）14:00～16:20

場所：大阪ボランティア協会 大会議室

参加人数 31人

内容：講演会、ワークショップ

講演演題「ペルーの魅力と抱える問題」

講師 グタラ ディスネル氏（関西外大・関西大学 スペイン語講師）

ペルーから日本に来て日本語も分からない中での苦労話などを交えて興味

深い話をして頂きました。幅広い話題の中で参加者の皆さんにもペルーに対しての関心を持ってもらえた講演でした。

4. 広報部 活動報告

1) 広報紙の発行

① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」年3回発行。

- ・29年04月=26号総会資料
- ・29年07月=27号上期報告
- ・29年11月=28号下期報告

※記事内に会員交流の場として「会員かわら版コーナー」を継続し、会員同士の活動の情報交換に努めました。

② 「SA ネット大阪 PR チラシ」の修正。

- ・組織名、電話、アドレスの変更に伴い修正を行い、SA ネット大阪のPRに活用しました。
- ・引きつづき高大、校友会のPRコーナーのラックにも配架し、SA ネット大阪のPRに努めました。

③ 関連団体の「アクティブシニアフェスタ 2018」や「29年度高大文化祭」「29年度高大修了式」に参加、PRコーナーで資料によるSA ネット大阪のPR、会員募集に努めました。

2) ホームページの推進

① SA ネット大阪主催のイベント情報

- ・「国際交流サロン」、「おもちゃづくり教室」、「おもしろ算数教室」等の、各事業部の資料更新。

② トップページに設けた各事業部「トピックスコーナー」に、毎月のホットなニュースを毎月アップ、ホット情報を届ける様にしています。

③ SA ネット大阪会員の活動アップ

- 「千里英語サロン」、「おしゃべり会」、「ニランジャナセワサンガ」、「サイエンスカフェ交野」等紹介をしました。

④ ホームページ管理についての質問提案に対して現状での回答、課題を理事会で、HPでの説明をしました。

3) 関連団体主催のイベントに参加

29年度高大文化祭、29年度高大スポーツ大会、29年度高大修了式、アクティブシニアフェスタ 2018 参加、HP 報告アップ、会員募集に努めました。

第2号議案 第12期活動計算書 報告と監査報告

I 第12期 活動計算書 報告・・・別紙「決算報告書」を参照願います。

II 第12期 監査報告・・・・・・・・次頁を参照願います。

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

理事長 武内 信憲 様

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの、平成29年度における会計並びに業務の監査を行い、次のように結果を報告いたします。

記

1. 会計監査について、貸借対照表、財産目録、活動計算書、財務諸表及び会計諸帳簿を精査した結果、経理関係は適正に行われており、財産状況を正しく示しているものと認めます。
2. 業務監査について、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類閲覧を行い、業務執行の妥当性を検討した結果、事業報告の内容は正しいものであることを認めます。

平成30年5月22日

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

監

事

新 鞆 清 彦

印

第3号議案 役員選任の件 (案)

現在の役員	新役員候補 (案)
理事 (顧問) 永田 得祐	顧問 西川 龍夫
理事 (理事長) 武内 信憲	理事 (理事長) 武内 信憲
理事 (副理事長) 西川 龍夫	理事 (副理事長) 二葉登代子
理事 (副理事長) 二葉登代子	理事 (副理事長) 大川 正彦
理事 三田 進一	理事 三田 進一
理事 大川 正彦	理事 島田 道子
理事 島田 道子	理事 森井 英和
理事 森井 英和	理事 村松 秀明
理事 村松 秀明	理事 小林 町子
理事 小林 町子	理事 北川 陽子 陽子
理事 北川 陽子	理事 森川 加也 (新任)
監事 新鞍 清彦	監事 新鞍 清彦

[退任] 理事 (顧問) 永田 得祐 理事 西川 龍夫

第4号議案 第13期 事業計画 (案)

I. 第13期 総括事業方針

今期は新規入会の会員と役員を迎え新体制でスタートすることになります。新しい発想も取り入れて、取り組みたいと思います。

平成27年より、主たる事務所を大阪市 (高大事務所内) に移してきましたが、大阪府高齢者大学校内の新事務所に固定されたことにより、あらゆる面で連絡が集中管理できる体制になりました。

今期は、伝承おもちゃづくり府民塾事業部の「おもちゃづくり教室」開催時等の応援スタッフの養成、おもしろ算数教室開催時のサポーターの養成と応援スタッフの養成、国際交流サロンの事業開催時の応援スタッフの養成が必要になります。

新規の会員と共に各事業部の企画面や実施方法にも一層の工夫と改善が要求されます。まずは企画・準備・実施の各段階とともに参加して体験してもらいまし

よう。

大阪府高齢者大学校、大阪府民カレッジ・大阪区民カレッジ、校友会等の関連団体との連携が益々重要になります。

日頃の活動に賛同いただき一緒に活動してみようという新規の会員の方々の確保、会員の皆様に喜んで参加してもらえるような企画、地域に歓迎される企画が要求されます。

II 事業部 活動方針

事業の実施に関する事項

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動方針

- (1) 定例的な活動になった四天王寺「わか市」(原則毎月第1日曜日)、「おもちゃづくり教室」(原則奇数月第3火曜日)は、今期も継続して活動していきます。
- (2) その他の「おもちゃづくり」イベントについては、重要度や、参加実績、参加メンバーの有無等勘案、参加し「伝承おもちゃづくり」手法を子どもたちや、若いご両親に伝え、楽しみながらつくり、それで喜びを実感してもらい「世代間交流」を図ります。
- (3) 障がい者、シニア向けのイベントや、教室等にも機会を見つけて参加、それぞれが自立・社会参加に役立つことを期待します。
- (4) 大阪府高齢者大学校「校友会」、SA連協等との連携により、情報の共有化、コラボ活動も視野に入れて活動を図ります。
- (5) 活動資金については、助成金申請等により調達を検討します。

2. おもしろ算数教室事業部 活動方針

①この教室を理解していただくために、パズル体験の機会を増やします。そのために「おもしろ算数パズル塾」という休眠システムを活用したいと思います。サポーターの方々が、この塾の実施を図り「パズルを解く楽しみを知って、脳の活性化を目指す」ことを、多くの方々に知って頂きます。

②出前教室の機会を増やしたいものです。報告でも触れましたが、継続的に実施しているところでは、何回も参加している方が、目新しいタイプのパズルに対してもどんどん解き進んでいけます。しかし、最近参加し始めた方は、慣れないで、なかなか解き進まない姿と対照的です。これは、脳が活性化されているか否かの証と言えるでしょう。

③パズル体験の機会を増やしたり、テキストの販売を進め、算数パズルを解くことの楽しさを、多くの方々に知っていただきたいと考えています。その上で、「おもしろ算数教室」とはどのようなものかを、知っていただきたいものです。そのために体験会や「おもしろ算数パズル塾」実施の機会を増やしたいし、多くの参加者を募りたいと思います。

④サポーター会を、より充実したものにするために、次の様に取り組んでいきます。次の目標をたてて、楽しく活動できる会にしていきます。

(1) 各々のサポーターが「おもしろ算数パズル塾」の実施を目指す。

(2) 新しいパズルを、互いに提案し、楽しみます。

(3) おもしろ算数教室の目的「楽しみながら、脳の活性化を図る」ことを目指し、テキスト販売にも力を入れたい。

3.国際交流事業部 活動方針

今期は国際交流事業部の運営委員が高大のCD(クラスディレクター)をするなどの理由で1名が抜けます。新たなメンバーを加えて従来の活動だけではなく、新たな活動も増やして活動の幅を広げていきます。

1) 具体的には

① 今期より大阪大学留学生ホストファミリーの窓口団体として留学生支援活動を行う事。

4月からはトライアルとして3名がホストファミリーに登録。

実際に活動を行ってみて8月からは本格募集を致します。

形態「ビジット型ホストファミリー」(宿泊は伴わない。)

② 会員が個別に行っている国際交流活動の支援活動。

③ 会員が個別に参加している国際協力活動とのコラボ企画等について運営委員会での協議を踏まえて実施していきます。

2) また従来から開催している国際交流サロンについては

① 第39回国際交流サロン

9月開催案

内容：南アジア又は東南アジアの文化についての講演

② 第40回国際交流サロン

10月開催案

内容：在日外国人・留学生との交流

日本文化(落語)の紹介

③ 第41回国際交流サロン

11月開催案

内容：中央アジア又はヨーロッパの文化についての講演

3) 運営委員会の開催

日時：毎月第4月曜日13:00~15:00

場所：原則として大阪社会福祉指導センター3階

4.広報部 活動方針

1) 広報紙の継続発行

① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年3回30年4月,7月,10月の発行を目指します。

・継続して会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り発信します。

②各事業部イベントチラシの支援

2) 啓発活動

- ① 高大校友会の PR コーナーのラックにも継続して「PR チラシ」等を配架、SA ネット大阪の PR に努めます。(ネット大阪 PR チラシの新調)
- ② 関連団体行事の「高大文化祭」「高大修了式」に事務局と共同で参加し、PR ブースで資料での SA ネット大阪の PR に努めます。

3) ホームページの推進

- ① SA ネット大阪主催のイベント「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等の各事業部の資料更新と引き続き「事業部トピックスコーナー」の充実で、定期的なホットニュースを発信します。
- ② 「SA・ネット大阪ニュース」を、年3回30年4月,7月,10月にアップします。
- ③ 関連団体の大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告をアップします。
 - ・SA ネット大阪会員の主催する情報も随時掲載して更新を図ります。
- ④ ホームページ全体のリニューアルの検討に入ります。

第5号議案 第13期活動計算書予算(案)・・・・・・・・次頁を参照願います。